

平成 25 年 8 月 22 日

8 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は降雨が続き作業が遅れ気味。新材の割合多く国有林材の入荷も始まる。荷動きはスギが全般に引合強く、柱材が先行して好転。ヒノキは土台取りが引合好調だが中目材は良材少なく動きはやや鈍い。スギ価格は製品の荷動きが好転していることから柱材は強含み、中目材は保合。ヒノキは土台取りが強含み、柱材は強保合、中目材は弱保合で推移。群馬の製材工場の操業状況はほぼフル操業。原木の入荷は特に問題ない。県単の家づくり補助の申込は順調で対前年同期比 123%。木材利用ポイントは現在、県内申込 0 だが、照会は増加傾向。スギ原木の入荷は激減し価格も下げ止まりだが、虫害懸念で手当意欲も薄い。

2. 米材

6 月の米国新設住宅着工は前月比 9.9%減の年率 83.6 万戸。米国丸太は国内での製品価格の下落と、中国の買いが引き続きスローなことから価格は弱含み。カナダ丸太はオールドが無い高で、セカンドは弱保合。産地の港頭在庫は、伐採量は変わらないが出荷量が若干減少で在庫量は増加傾向。ウェアハウザー社の 8 月積み米マツ IS ソートは 10\$ ダウン。米材丸太の入・出荷、在庫とも横這。国内大型港湾製材工場の荷動は KD 材を中心に堅調。内陸部製材工場の荷動は、工場によってバラツキがあるが総じて低調が続く。米製材品の TLT(東京木材埠頭) 7 月入荷量は 39.4 千 m³で、前月比 6.2%増。出荷量は 40.2 千 m³で同 19%増、在庫量は同 10%減。産地情勢は原木の出材は横這。今後、山火事による供給減を懸念。SPF の J グレード新規オファーは横這いから多少の値下だが、総じて米材価格は安定。産地価格は、引続き高値横這で推移しているが、日本からの強い抵抗により、値上げの勢いは止まりつつある。先行きは国内製材品の値上げ基調が踊り場になり、輸入材を使うコストメリットがなくなりつつある。入荷量は増えたが、出荷量も多く在庫量は横這で推移。

3. 南洋材

サバは、断食中で原木の出材は最低限で推移。製材工場も当用買いで対応。

原木が限定的な上、物価高や最低賃金制の影響で製材コストが高くなっているため、日本側の要請とは逆に産地価格は横這で推移。サラワクは断食と不安定な天候により、出材は安定しないが需要が少ないため影響は少ない。原木価格はコスト高と出材減で、シッパーは依然強気姿勢が続き、大きな変化はない。断食明け及びお盆明けの変化に注目。PNG・ソロモンの出材・需要は低迷。中国向けもやや低迷。南洋材丸太の入荷は増加、出荷・在庫は横這。原木の販売は合板用、製材用とも変化なし。製材品は集成材・栈木・棒類とも荷動きは低調で当用買いが続く。

4. 北洋材

ロシア極東のエゾマツ、カラマツ丸太の日本向けアムール配船は、計画通りに進み6-7月の年前半は概ね終了。今後は虫害の少なくなる9月中旬以降に再開されるが、多めの越冬在庫を見込み、それなりの配船を予測。中国上海向け配船は、価格低迷だが内陸向けバージ渡しは、エゾマツ中心に好調。全体的には丸太価格に大きな変化なし。シベリア材は夏季の配船皆無で伐採は10月以降、配船は早くとも12月以降の模様。富山新港の7月丸太入荷量は7千 m^3 （エゾマツ7千 m^3 、カラマツ0、アカマツ0）、製品は12千 m^3 。価格動向は、丸太は横這い、製材品は輸入品・国内挽きとも仕入れ高値が続き、販売価格転嫁が追いつかず。荷動は丸太、製材品とも低調。在庫状況は1.5~2ヶ月位。国内製材工場はエゾマツ、アカマツとも不採算続く。稼動状況は採算合わず生産調整。

5. 合板

原料丸太のうち国産材は針葉樹合板の生産増もあり強含みといえるが値上げとはなっていない。南洋材は現地のコストアップを反映できず、強含み横這。米材は現地の住宅着工が好調により強気での推移。6月の国内合板生産量23.8万 m^3 のうち、針葉樹合板は22.3万 m^3 。出荷量は22.0万 m^3 で今年最高値を記録。2ヶ月連続生産量が出荷量を上回っているが、在庫量は13.7万 m^3 と依然低水準。販売価格は、出荷量が依然好調であり今後の需要増予測から、メーカー側は強気姿勢を崩していない。国産針葉樹合板は、直需ルートが好調で木建ルート不調は変わらず。価格は12mmが横這、ネダノン系はジリ高で推移しているものの一部価格乱れを指摘する声もある。輸入合板の荷動きに変化なし。需要は盛り上がりせず、現地のコストアップで綱引き状態が続く。先行き針葉樹合板は、ネダノン系の生産比率増により12mmの在庫に多少懸念。輸入合板は各港頭在庫が一杯の状態、直近の値上げはないが、今後の入荷量には特に注視する必要。6月の輸入合板入荷量は29.1万 m^3 でかなりの高水準。港頭在庫は関東の各港とも依然満杯の状況が続く。

6. 構造用集成材

原料は順調に入荷しているが、9-10 月入港分は夏休みのため減少。価格は上昇基調で 3rdQTR が 2nd から 5€~8€アップ。国産集成材の受注、販売・荷動きともに良好、先行きは大手ハウスメーカー中心に引き続き良好。在庫は少ない。輸入集成材は、価格値上げに伴い、契約減で 7-9 月出港分は 30%減となる見込み。大手住宅メーカーの受注は好調だが、職人・資材不足で着工能力に限界が有り、最大でも 10%アップ程度との見方。木材利用ポイントの動きは、大手ハウスメーカーが積極的。

7. 市売問屋

国産材の構造材は、スギ柱角の動きは堅調。ヒノキ柱角・土台も小口ながらまですまの動き。造作材は、スギ内装用は小口増改築、リフォーム用の動きが継続。建具材は引き続き低調な動き。外材の構造材は、WW・RW とともに供給過剰感から販売に苦戦。造作材は建築用のスプルー、米ヒバ、ピーラーは動き良い。建具用は各材とも入荷薄、製品高で動きも低調。市日の来場者数は前年対比で増えているが、手持ち仕事量が少なく、当用買いが続いている。

8. 小売

国産材の構造材はスギ KD 柱、小割、板割、ヒノキ KD 柱、土台いずれも保合。外材はロシアアカマツ KD 野縁が保合、ベイツガ KD 角、平割り、SPF とともに強保合。造作材はスプルー、ピーラー平割強保合。WW、RW 集成材は梁、柱とも保合。合板は針葉樹、ラワンとも保合。プレカット工場の動向は、受注は引き続き好調だが、職人不足で工期延長。材料価格も月を追って値上げ。工務店は 8 月のお盆休みをはさみ仕事は低調。消費税アップを見越しての新築住宅受注の動きは少ない。

8月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	↘	→	↘
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→		

矢印の表示は本月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸 入 量		
	計	インドネシア	マレーシア
↗	↘	↘	↘

3. 価格動向

樹材種	形 状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材(3m) 2等	↗
			スギ中丸太(3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材(3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太(4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギタルキ3.0×4.0×4m	→
		ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→	
		ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→	
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	↘
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ カスケード(カナダ産)	→
			米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↗
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8'' 13'	→
			米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16'' 13'	→
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→	
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品		産地価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用
			東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトセラヤ 平割(サバ州産) 同上2.4cm×込み×4m 定尺1等
北洋材	製材品	国内卸売価格 (東京問屋着値)	エゾマツ(3.0×4.0×3.8m) 特等	→
			アカマツ(3.0×4.0×4m) 特等	→
			カラマツ(10.5×10.5×4m) 特等	※
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↗
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	〃	スギ 無化粧 10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	↗
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→